

DMI4

DCP MIDI INTERFACE

取扱説明書

このたびは、マクソン DCP MIDI インターフェイス DMI 4 をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
DMI 4 の性能をフルに発揮させるために、また末永く支障なくお使い頂けますよう、ご使用前にはこの取扱説明書を是非お読みください。

特 徴

- ◆ DMI 4 はマクソン DCP シリーズ・エフェクターのシステム化を達成する目的で設計された、MIDI インターフェイスです。DCP シリーズ・エフェクターを 4 台まで接続することができ、各エフェクターのサウンドを任意に選び出すことによって各種のコンビネーション・サウンドを創り上げることができます。
- ◆ DCP エフェクターのフット・スイッチにシステム全体のバイパス機能や、プログラムのインクリメント／デクリメント機能を持たせることができます。
- ◆ MIDI 信号を扱うことができ、外部 MIDI 機器より本体のプログラムを変更したり、本機より外部 MIDI 機器をコントロールすることができます。
- ◆ 別売の AC アダプター AC609 を接続すると本機より各 DCP エフェクターに電源を供給することができます。

目 次

特徴	1
ご使用前に	2
各部の名称と働き	3
接続方法	6
フット・スイッチの機能	7
操作方法	8
電源の投入	8
電源投入後の状態	8
コンビネーション・サウンドの作り方	9
MIDI コントロール	11
MIDI アウトの信号	11
主な仕様／規格	12
寸法図	13
MIDI 送受信データ・フォーマット	14
MIDI インプリメンテーション・チャート	18

■ ご使用の前に

次のような場所でのご使用は故障などの原因となりますのでご注意ください。

- ◇ 直射日光が当る場所。
- ◇ 温度や湿度が極端に高い場所や低い場所。
- ◇ 砂やホコリの多い場所。
- ◇ 衝撃や振動の加わる場所。

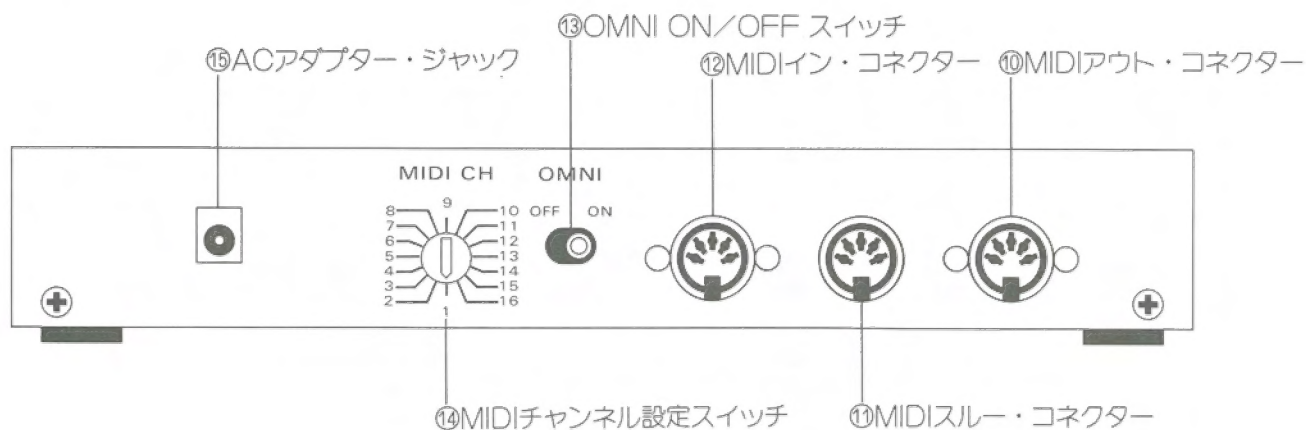
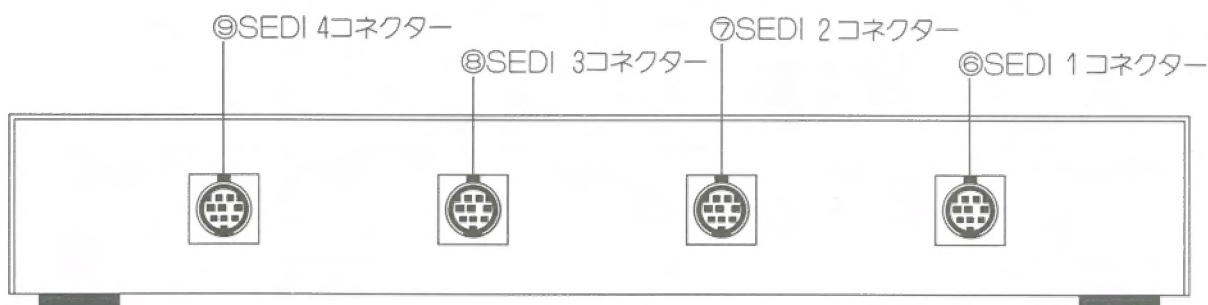
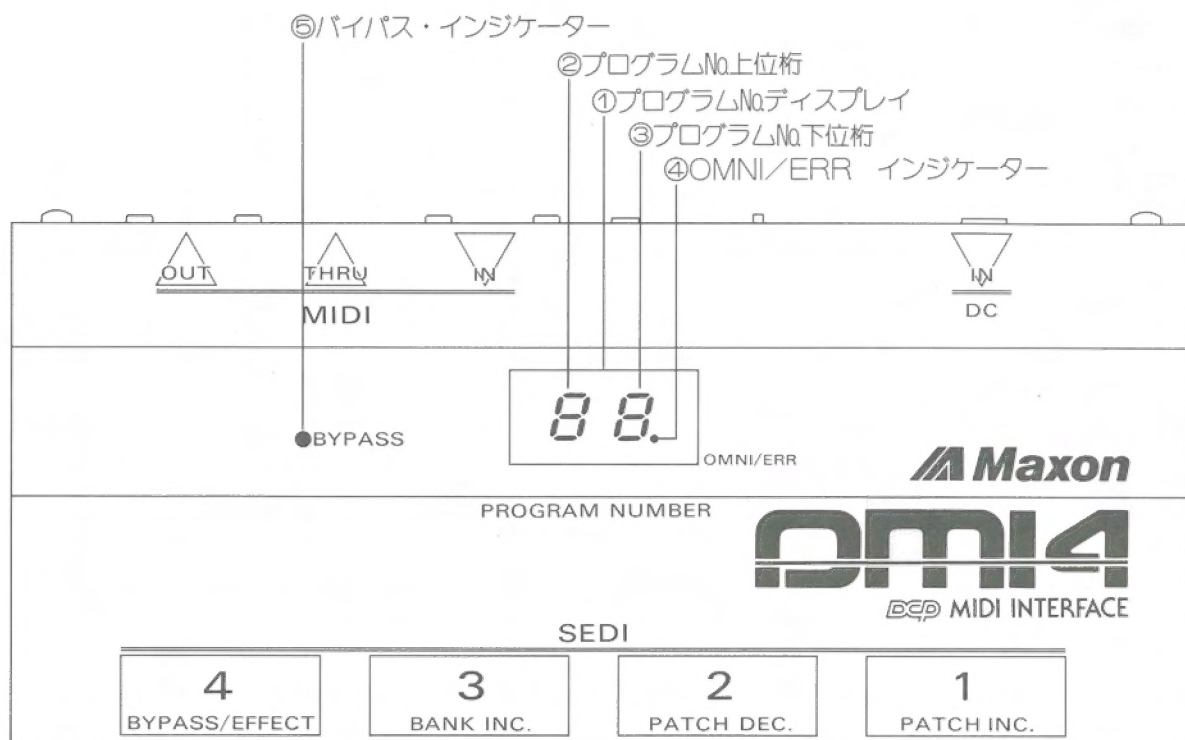
電源について

- ◇ 本機には必ず付属の AC アダプター又は、AC609を使用してください。他社の AC アダプターを使用した場合、正常な動作をしない場合があります。
- ◇ 本機の AC アダプターは100V 専用です、必ず AC100V の電源コンセントに差し込んでお使いください。
- ◇ 海外でご使用になられる場合は、当社アフター・サービス・ルームにご相談ください。

取扱について

- ◇ 外装のお手入れは柔らかい布で拭いて下さい。ベンジンやシンナー類の使用は絶対に避けてください。
- ◇ ラジオやテレビなどのすぐそばでご使用になりますと、本機に雑音が入ったり誤動作の原因になることがあります。このような場合は離してご使用ください。
- ◇ スイッチやツマミに必要以上の力を加えることは避けてください。

■各部の名称と働き



①プログラムNoディスプレイ
プログラムNoを表示します。

- * プログラムNoの上位桁および下位桁は SEDI 1 コネクターに接続された DCP エフェクターのプレイ・モードのバンクNo 0～9、パッチNo 0～9 を表します。
- * 本機で扱えるプログラムNoは00～99迄です。
- * MIDI のプログラム・チェンジとは1対1で対応します。
ただし MIDI でコントロールする場合、プログラム・チェンジ100番以上は無視されます。

②プログラムNo上位桁
SEDI 1 コネクターに接続された DCP エフェクターのプレイ・モードのバンクNoに対応します。

③プログラムNo下位桁
SEDI 1 コネクターに接続された DCP エフェクターのプレイ・モードのパッチNoに対応します。

④ OMNI / ERR インジケーター

- * OMNI : ⑬ OMNI ON / OFF スイッチの状態を表します。
電源投入時、スイッチが ON になっていると数秒間点滅します。
- * ERR : MIDI 信号や SEDI 信号を受信中にエラーが生じた場合、点灯します。

⑤ バイパス・インジケーター
システムがバイパス状態になったとき点灯します。

⑥ SEDI 1 コネクター
DCP シリーズ・エフェクターを接続するコネクターです。接続には付属の専用ケーブルを使用してください。

- * このコネクターに接続された DCP エフェクターのプレイ・モードのプログラムによりシステムがコントロールされます。
- * このコネクターに接続された DCP エフェクターのフット・スイッチはパッチNoのインクリメント・スイッチとして機能します。

⑦ SEDI 2 コネクター
DCP シリーズ・エフェクターを接続するコネクターです。接続には付属の専用ケーブルを使用してください。

- * このコネクターに接続された DCP エフェクターのフット・スイッチはパッチNoのディクリメント・スイッチとして機能します。

⑧ SEDI 3 コネクター
DCP シリーズ・エフェクターを接続するコネクターです。接続には付属の専用ケーブルを使用してください。

- * このコネクターに接続された DCP エフェクターのフット・スイッチはバンクNoのインクリメント・スイッチとして機能します。

⑨ SEDI 4 コネクター
DCP シリーズ・エフェクターを接続するコネクターです。接続には付属の専用ケーブルを使用してください。

- * このコネクターに接続された DCP エフェクターのフット・スイッチはバイパス/エフェクト切り替えスイッチとして機能します。

⑩ MIDI アウト・コネクタ

MIDI 信号を送信するためのコネクタです。

⑪ MIDI スルー・コネクタ

⑫ MIDI イン・コネクタで受信した MIDI 信号をそのまま他の MIDI 機器に送り出すためのコネクタです。

⑫ MIDI イン・コネクタ

MIDI 信号を受信するためのコネクタです。

⑬ OMNI ON / OFF スイッチ

スイッチを ON にすると送信側の MIDI チャンネルに関係なく MIDI 信号を受信します。OFF にすると送信側と DMI 4 の MIDI チャンネルが同じでないと受信しません。

⑭ MIDI チャンネル設定スイッチ

MIDI 信号の送信／受信チャンネル（1～16）を設定します。

⑮ AC アダプター・ジャック

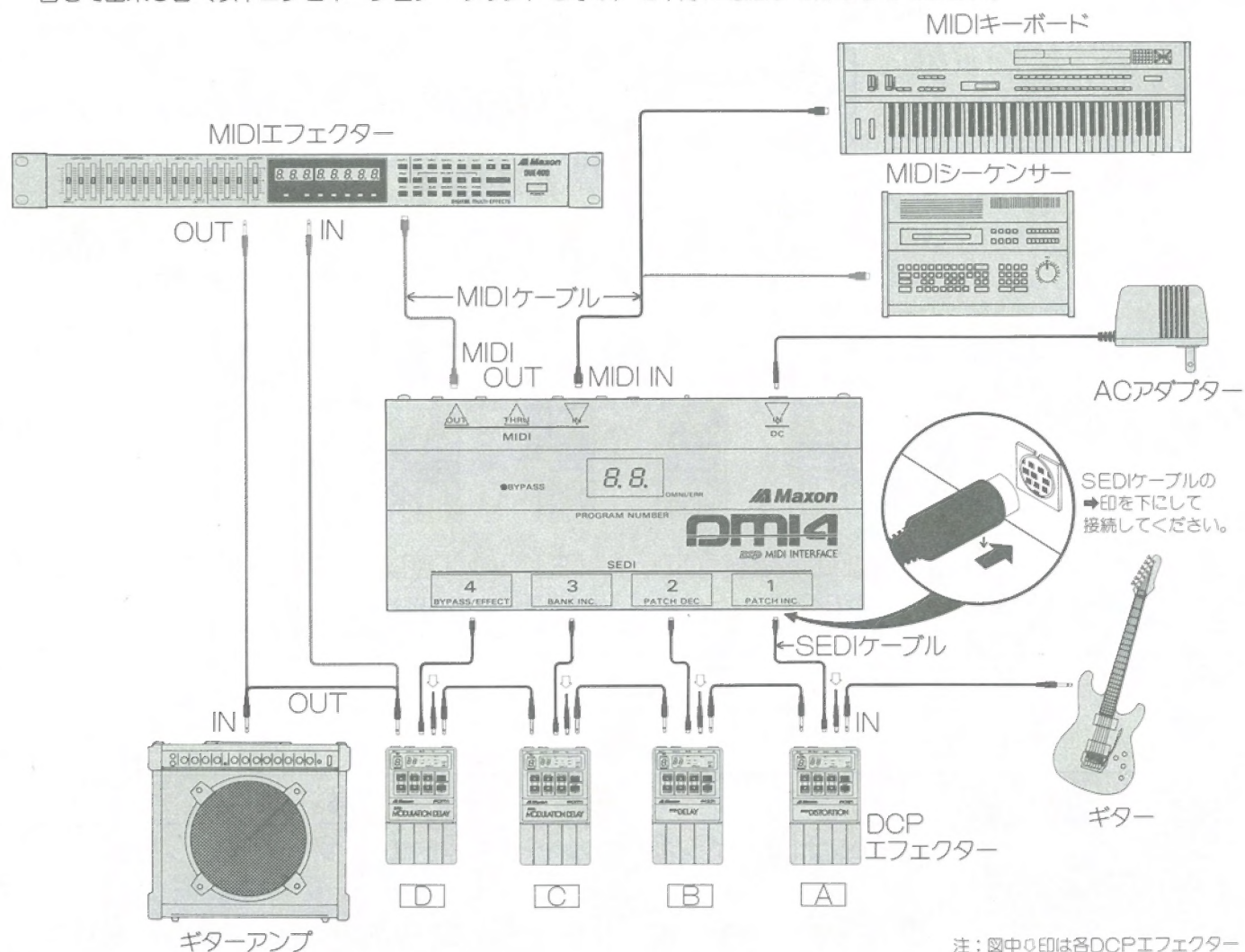
DMI 4 に電源を供給するためのジャックです。

付属の専用 AC アダプター又は、AC609を使用してください。

接続の方法

DMI 4 を使用したシステムの作り方は下図のように行ってください。

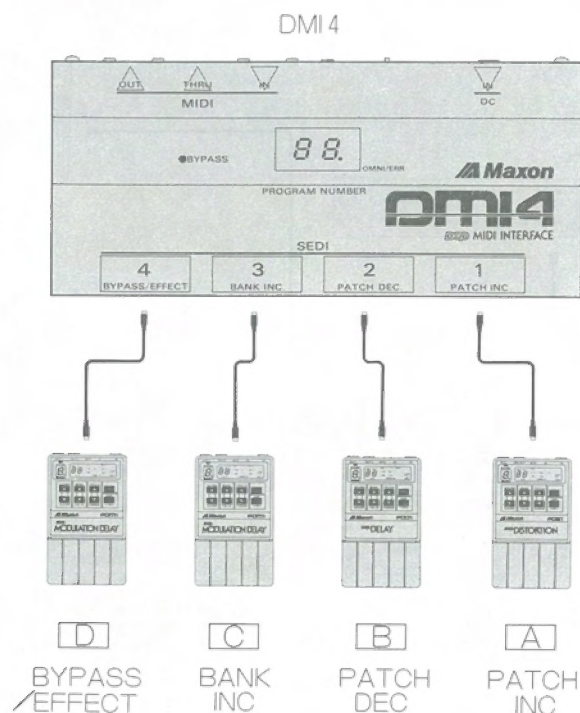
- * エフェクター [A] [B] [C] [D] は、カスケード（直列）接続してください。従って、接続にはエフェクターを組み合わせて出来る音（以下コンビネーション・サウンドと呼ぶ）を十分に考慮して行ってください。



- * システム全体は SEDI 1 コネクターに接続された [A] エフェクターのプレイ・モードのプログラムによってコントロールされます。従って、使用するエフェクターが 2 台、3 台の場合でも必ず SEDI 1 コネクターを使用してください。
- * 使用するエフェクターが 2 台、3 台の場合は必要と思われる機能の SEDI コネクターに接続してください。（エフェクターのフット・スイッチ機能については 7 ページをご覧ください。）
- * DMI 4 及び各エフェクターにはそれぞれに付属している AC アダプターで電源を供給してください。
- * 別売の AC アダプター AC609 を DMI 4 に接続すると、SEDI 1 ケーブルを介して各 DCP エフェクターに電源を供給できます。尚、その際は各エフェクターの消費電流の合計が 500mA をこえないようにしてください。
- * DCP エフェクターに AC アダプター・ジャックと SEDI ケーブルの双方より電源を供給した場合は AC アダプター・ジャックが優先されます。

■ フット・スイッチの機能

DMI 4に接続された DCP エフェクターのフット・スイッチは、SEDI コネクタの場所によって、次のように機能が割り付けられます。



[各エフェクターのフット・スイッチ機能]

フット・スイッチ	機 能	備 考
SEDI 1の [A] エフェクター	パッチNoのインクリメント (アップ)	同一バンク内でインクリメント し、EOPの設定に従う。
SEDI 2の [B] エフェクター	パッチNoのデクリメント (ダウン)	同一バンク内でデクリメント し、EOPの設定に従う。
SEDI 3の [C] エフェクター	バンクNoのインクリメント (アップ)	バンクNoを替えるとパッチNoは 0になる。
SEDI 4の [D] エフェクター	バイパス/エフェクト 切り替え	トグル(繰り返し)動作します。

* EOP (END OF PATCH): プレイ・モードのとき、終了パッチを識別するためのもので、[A] エフェクターに指定することによりシステム全体が [A] エフェクターのEOPを認識し動作します。

操作方法

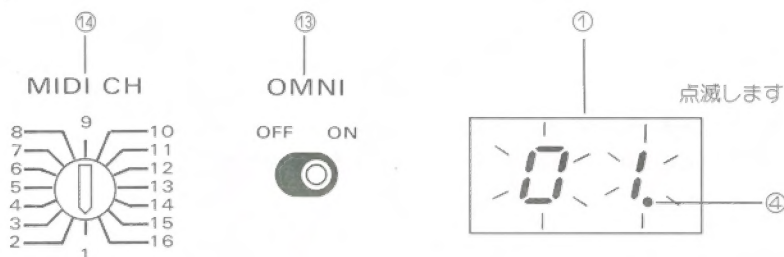
電源の投入

電源の投入は次の順序で行ってください。

[1] 各エフェクターに付属の AC アダプターで電源を供給します。

[2] DMI 4 に付属の AC アダプターで電源を供給します。

このとき、①プログラムNo. ディスプレイは MIDI チャンネルの設定状況と、OMNI ON/OFF の状態を数秒間点滅表示します。



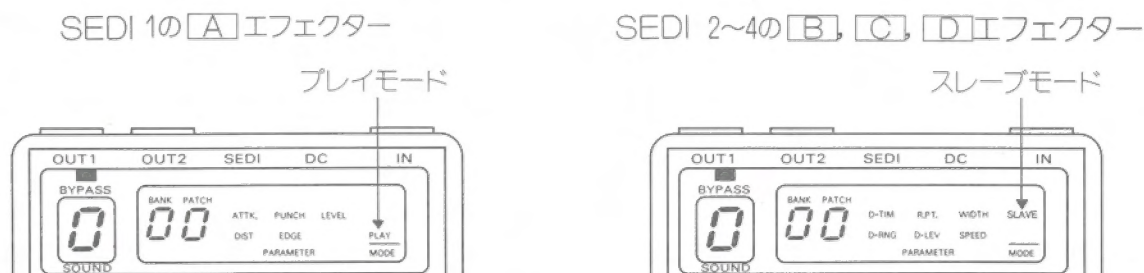
- * ①プログラムNo.ディスプレイの数値は⑭MIDI チャンネル設定スイッチで設定された値です。
- * ④ OMNI/ERRインジケータのドットが点滅すると、⑬OMNI ON / OFF スイッチが ON であることを示します。
- * 別売の AC アダプター AC609を使用する場合は [1] の作業は必要ありません。

電源投入後の状態

[1] ①プログラムNo. ディスプレイの点滅が止まり、上位桁に、“SEDI 1 の [A] エフェクターの前回終了時のバンクNo.” 下位桁に “パッチNo. ” が呼び出されます。

- * [A] エフェクターのバンクNoと DMI 4 のバンクNoが異なる場合はセット・ミスです。この場合は DMI 4 の電源を1度 OFF し SEDI ケーブルの接続を確認してから再度 ON してください。

[2] SEDI コネクターに接続された DCP エフェクターのモードが自動的に下記のようになります。



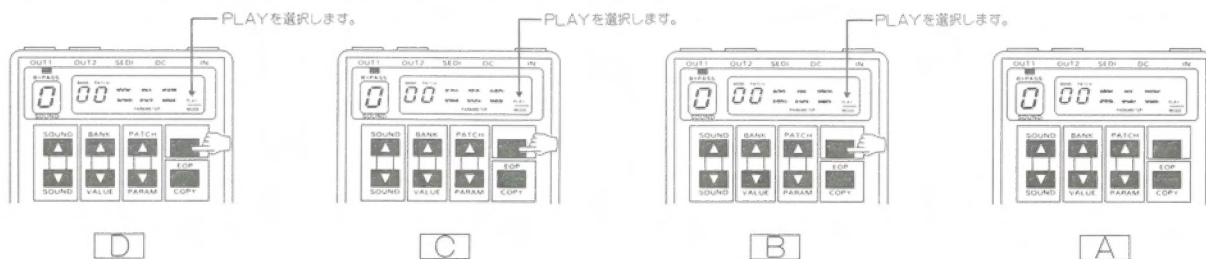
- * この状態が DMI 4 を使用したシステムの通常動作状態です。
- * SLAVE(スレーブ)モードとは SEDI 1 の [A] エフェクターを親装置とした場合、コントロールされる子装置になることを示すモードです。
- * 電源投入後には各エフェクターは必ず上記のモードになります。ならない場合はセット・ミスです。この場合は DMI 4 の電源を1度 OFF し SEDI ケーブルの接続を確認してから再度 ON してください。
- * 初めて DMI 4 でシステムを組み合わせ、コンビネーション・サウンドを作るときは9ページの“コンビネーション・サウンドの作り方”を参照してください。

コンビネーション・サウンドの作り方

コンビネーション・サウンドはカスケード（直列）接続したエフェクターのトータル出力であり、DMI 4では各エフェクターのサウンドを組み合わせることで効果音を得ることから、このように呼びます。

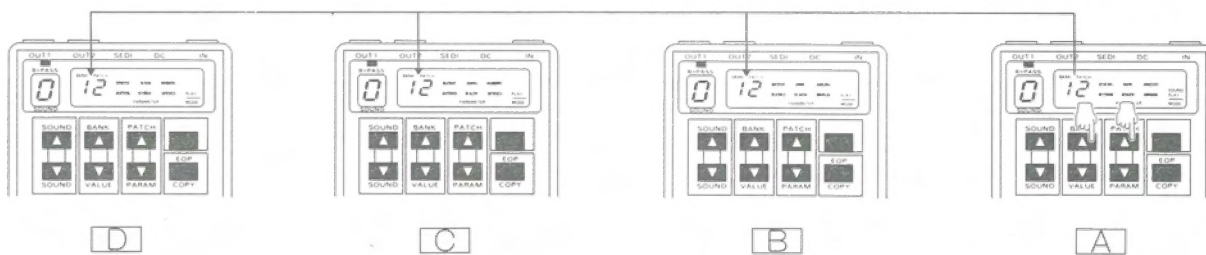
[1] 各エフェクターのモードをモード・キーによりプレイモードにしてください。

* ☐ A エフェクターは電源投入時にプレイモードになっています。



[2] プログラム（コンビネーション・サウンド）を作成するバンクNo.、及びパッチNo.を ☐ A エフェクターのバンク／パッチ・キーを使用して選びます。

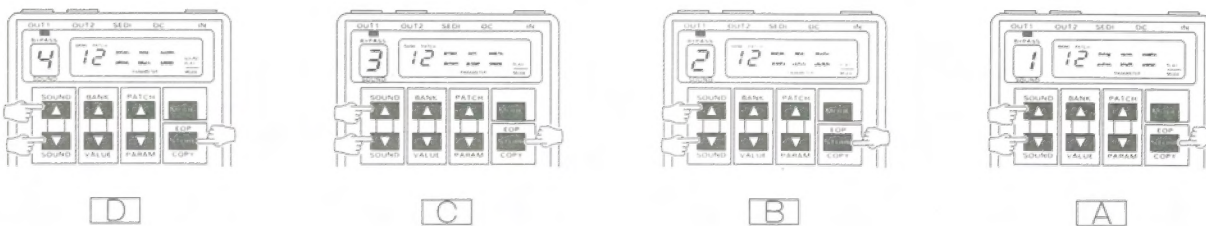
* ☐ B, ☐ C, ☐ D エフェクターは ☐ A エフェクターのバンク／パッチNo. と同一になるようにコントロールされます。



[3] 各エフェクターの使用するサウンドを決定します。

* 使用するサウンドは、各エフェクターごとにサウンドNo. キーにより選択してください。

* 下図はバンクNo. 1 / パッチNo. 2に ☐ A エフェクターから順にサウンドNo. 1 2 3 4 をプログラムした例です。

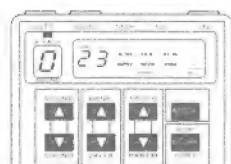


* エフェクターによってはバイパスにしたい場合があると思いますが、その場合はサウンドNo. 0を選択してください。

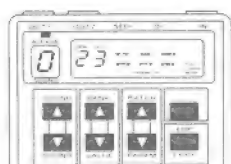
* 各エフェクターのサウンドが決定したら各エフェクターごとに必ずストア・キーを押してください。

例1：1台のエフェクターの任意のサウンドのみを呼びだすプログラム

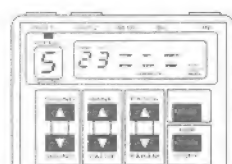
下図ではバンクNo.2/パッチNo.3に [B] エフェクターのサウンドNo.5のみを呼びだすプログラムをセットしてみました。



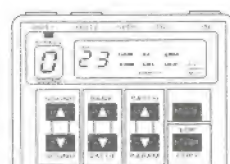
[D]



[C]

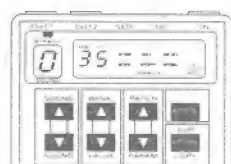


[B]

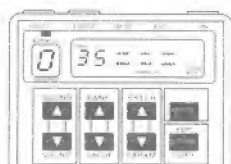


[A]

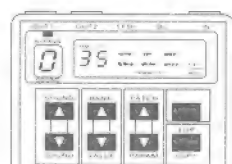
例2：全てのエフェクターにサウンドNo.0を選択した場合システムとしての出力はダイレクト音で、バイパス状態と同じですが⑥バイパス・インジケータは点灯しません。



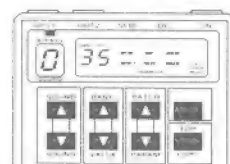
[D]



[C]



[B]

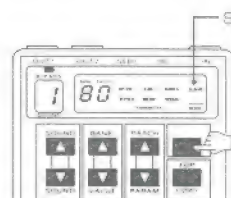


[A]

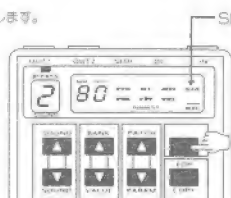
[4] [2]、[3] の操作を繰り返して他のコンビネーション・サウンドを作ります。

[5] [B] , [C] , [D] エフェクターのモードをモード・キーによりスレープモードにもどします。

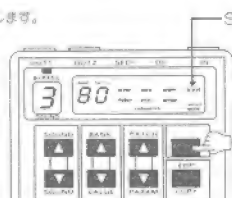
* これで DMI 4 を使用したシステムの通常動作状態にもどります。



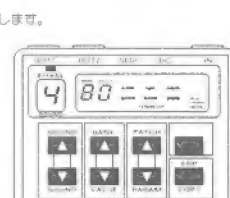
[D]



[C]



[B]



[A]

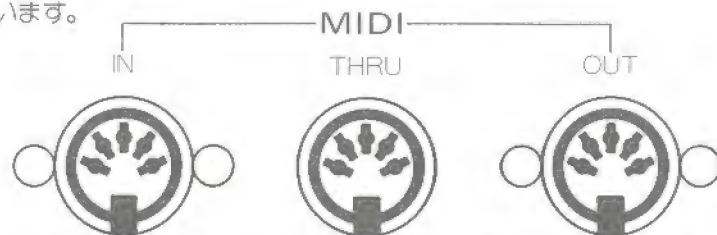
[6] コンビネーション・サウンドは任意のバンクの/パッチNo.0から曲の演奏順に並べていくと非常に便利です。バンクは10/バンクありますので、1曲に1バンク使用しても10曲分プログラムできます。もちろん1バンク内に数曲分を割付けるとい方法もとれます。

* [A] エフェクターに EOP(エンド・オブ・パッチ)を設定すれば、必要なコンビネーション・サウンドを繰り返し呼び出すことができます。

EOP の設定については、各 DCP エフェクターの取扱説明書を参照してください。

MIDIコントロール

本機は、MIDI (Musical Instrument Digital Interface) 信号を扱うことができ、下記のような MIDI 専用 DIN コネクターを装備しています。

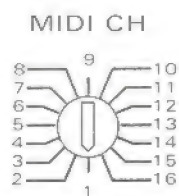


MIDI 信号により、外部 MIDI 機器より本機をコントロールしたり、本機より外部 MIDI 機器をコントロールすることができます。

扱えるメッセージは次の通りです。

- *チャンネル・ボイス・メッセージ (プログラム・チェンジ)
- *システム・イクスクルーシブ・メッセージ

- ◇ 扱えるプログラム・チェンジNoは00~99です。100以上は無視されます。
プログラム・チェンジNoの上位桁/下位桁はそれぞれ、DCP シリーズ・エフェクターのバンクNo/パッチNoに対応します。
- ◇ システム・イクスクルーシブ・メッセージを使用される方は“MIDI 送受信データー・フォーマット” 14ページを参照してください。



- ◇ MIDI 信号で本機をコントロールする場合、送信側の MIDI チャンネルと、本機の MIDI チャンネル (CH=1~16) を同じにする必要があります。
送信側の MIDI チャンネルを調べ、本機背面の⑨MIDI チャンネル切替スイッチで同じチャンネルに設定してください。
- ◇ 送信側のチャンネルに関係なく信号を受信したい場合は、⑬ OMNI ON / OFF スイッチを ON にしてください。
- ◇ 機器間の接続には15m 以内の MIDI 専用ケーブルを使用してください。

MIDI アウトの信号

通常使用状態においては、本機の MIDI アウトからはプログラム・チェンジ信号 (0~99) が出力されます。

- ◇ システムのバイパス
DMI 4 と DCP シリーズ・エフェクターのシステムにおいては、バイパス状態になるとプログラム・チェンジNo“0”を出力します。
DMI 4 と DCP エフェクターのシステムの他に外部 MIDI 機器を使用しシステム全体のバイパス状態を必要とする場合は、外部 MIDI 機器をプログラム・チェンジNo“0”を受けた時にバイパス状態になるように決定してください。
(注)バイパスに設定できない機種もあります。
- ◇ DMI 4 システムがバイパスのとき、バンクNoあるいはパッチNoを変えてもエフェクト状態に切り換えない限り、そのコンビネーション・サウンドは出力されません。
(プログラムNoは変化します)
従って、MIDI 信号も、エフェクト状態になったとき初めて出力されます。
* エフェクト状態ではバンクNo/パッチNoを切り替える度にプログラム・チェンジ信号を出力します。

■ 主な仕様／規格

[1] ディスプレイ／インジケーター

プログラムNo.ディスプレイ : 7セグメント 2桁表示
バイパス・インジケーター : 緑色LED
OMNI／ERR・インジケーター : 赤色LED

[2] SEDI (Small Effector Digital Interface)

◇コネクタ

SEDI 1 : ミニ・コネクタ
SEDI 2 : ミニ・コネクタ
SEDI 3 : ミニ・コネクタ
SEDI 4 : ミニ・コネクタ

◇送／受信

プログラム・チェンジ
イクスクルーシブ・メッセージ

[3] MIDI

◇コネクタ

MIDI イン : DIN コネクタ
MIDI スルー : DIN コネクタ
MIDI アウト : DIN コネクタ

◇スイッチ

OMNI ON／OFF スwitch
MIDI チャンネル設定スswitch

◇送／受信

チャンネル・ボイス・メッセージ (プログラム・チェンジNo.00～99)
システム・イクスクルーシブ・メッセージ

[4] 電源 : 付属の AC アダプター及び AC609

[5] 消費電流 : 80mA

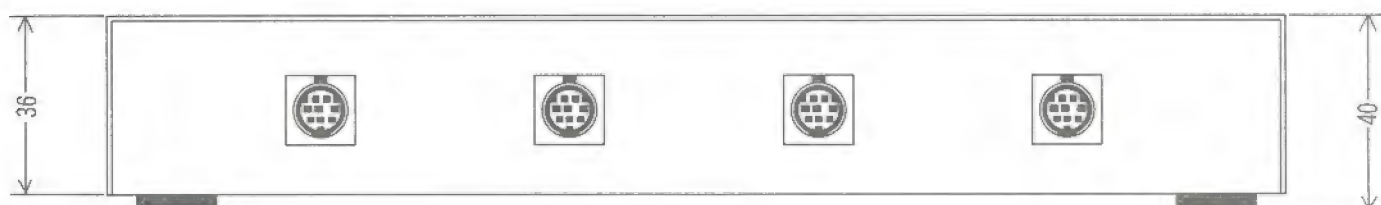
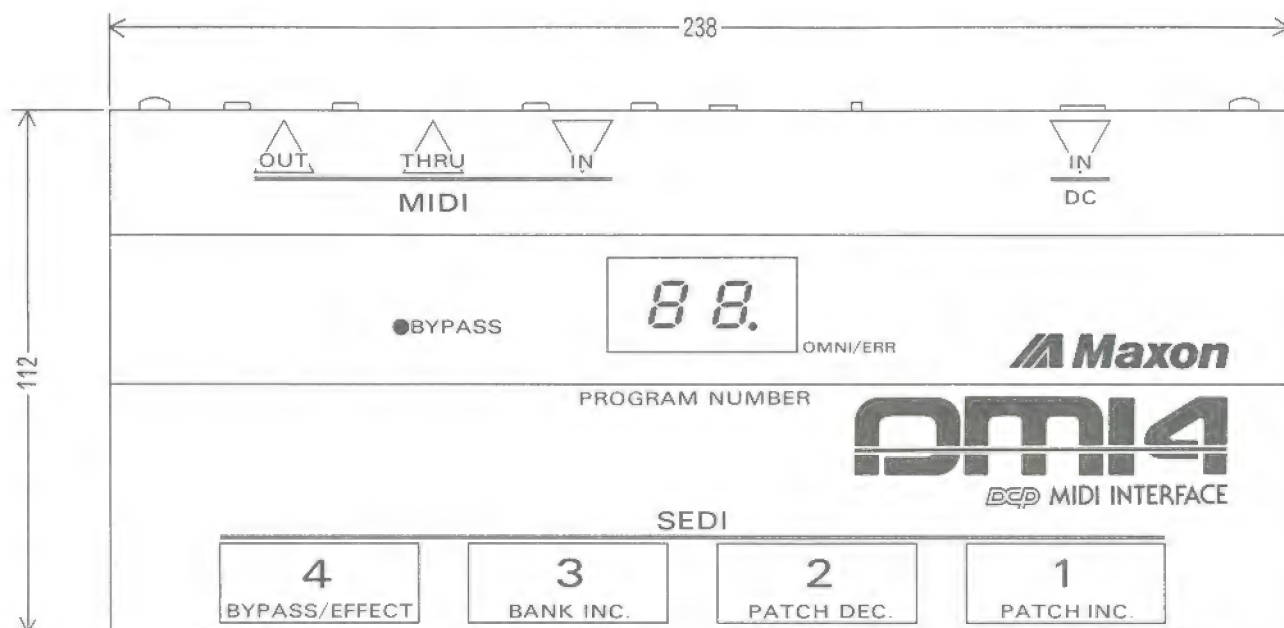
[6] 外形寸法 : 238mm(W)×40mm(H)×112mm(D)

[7] 重量 : 900g

[8] 付属品 : AC アダプター AC210
: SEDI ケーブル 4本
: ファンクション・シール

*仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

■ 寸法図



MIDI送受信データ・フォーマット

受信データ・フォーマット

チャンネル・ボイス・メッセージ

[1] プログラム・チェンジ/MIDI CH.

ステータス 1100nnnn (n=0~15: MIDI CH.)
プログラム No. 00000000 (0=0~99)

*本機は、プログラム No. = 0~99であるため100以上は無視される。

システム・エクスクリューシブ・メッセージ

メッセージの構造

ステータス (F0H: システム・エクスクリューシブ)
+
ID No. (4DH: ID No.)
+
システム No. (000000yy: y=0がシステム・コモン、y=1が
SEDIに接続された機器、y=2がDMI 4の指定)
+
システム CH. (0ssnnnn: s=1~4はSEDI CH. 指定、
s=0はSEDI共通、n=0~15はMIDI CH.の指定)
+
サブステータス (メッセージの種類)
+
パラメーター (サブステータスの種類によってバイト数は異なる。)
+
データバイト (サブステータスの種類によってバイト数は異なる。)
+
EOX (END OF SYSTEM EXCLUSIVE)

*システム No. y=0の時、SEDIはアクセスされずDMI 4が指定される。

[1] ダンプ・リクエスト

(A) 機種IDダンプ・リクエスト

ステータス 11110000 (F0H)
ID No. 01001101 (4DH)
システム No. 000000yy (y=0 or 2: DMI 4、y=1: SEDI)
システム CH. 0ssnnnn (s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス 01111111 (7FH)
EOX 11110111 (F7H)

(B) シーケンス・ダンプ・リクエスト、全バンク指定

ステータス 11110000 (F0H)
ID No. 01001101 (4DH)
システム No. 00000001 (SEDI 指定)
システム CH. 0ssnnnn (s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス 01111110 (7EH)
パラメーター 01000000 (40H)
EOX 11110111 (F7H)

(C) シーケンス・ダンプ・リクエスト、バンク No. 指定

ステータス 11110000 (F0H)
ID No. 01001101 (4DH)
システム No. 00000001 (SEDI 指定)
システム CH. 0ssnnnn (s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス 01111110 (7EH)
パラメーター 0000bbbb (b=バンク No. 0~9)
EOX 11110111 (F7H)

(D) カレント・シーケンス・ダンプ・リクエスト

ステータス 11110000 (F0H)
ID No. 01001101 (4DH)
システム No. 00000001 (SEDI 指定)
システム CH. 0ssnnnn (s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス 01111101 (7DH)
EOX 11110111 (F7H)

(E) サウンド・パラメーター・ダンプ・リクエスト、全パラメーター指定

ステータス 11110000 (F0H)
ID No. 01001101 (4DH)
システム No. 00000001 (SEDI 指定)
システム CH. 0ssnnnn (s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス 01111100 (7CH)
パラメーター1 000aaaaa (a=サウンド No. 0~19)
パラメーター2 01000000 (40H)
EOX 11110111 (F7H)

(F) サウンド・パラメーター・ダンプ・リクエスト、パラメーター No. 指定

ステータス 11110000 (F0H)
ID No. 01001101 (4DH)
システム No. 00000001 (SEDI 指定)
システム CH. 0ssnnnn (s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス 01111100 (7CH)
パラメーター1 000aaaaa (a=サウンド No. 0~19)
パラメーター2 00cccccc (c=サウンド・パラメーター No. 0~63)
EOX 11110111 (F7H)

(G) カレント・サウンド・パラメーター・ダンプ・リクエスト、全パラメーター指定

ステータス 11110000 (F0H)
ID No. 01001101 (4DH)
システム No. 00000001 (SEDI 指定)
システム CH. 0ssnnnn (s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス 01111101 (7BH)
パラメーター 01000000 (40H)
EOX 11110111 (F7H)

(H) カレント・サウンド・パラメーター・ダンプ・リクエスト、パラメーター No. 指定

ステータス 11110000 (F0H)
ID No. 01001101 (4DH)
システム No. 00000001 (SEDI 指定)
システム CH. 0ssnnnn (s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス 01111101 (7BH)
パラメーター 00cccccc (c=サウンド・パラメーター No. 0~63)
EOX 11110111 (F7H)

[2] ストア・リクエスト

(A) シーケンス・ストア・リクエスト、全バンク指定

ステータス 11110000 (F0H)
ID No. 01001101 (4DH)
システム No. 00000001 (SEDI 指定)
システム CH. 0ssnnnn (s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス 01011110 (5EH)
パラメーター 01000000 (40H)
バイトカウント 00110100 (データバイト数=100)
データバイト 0a0ddddd (d=0~19、エンド・オブ・パッチはa=1)
↓
0a0ddddd
チェックサム 0eeeeeee
EOX 11110111 (F7H)

*チェックサムはデータバイトの加算値の2の補数の下位7ビット

(B) シーケンス・ストア・リクエスト、バンク No. 指定

ステータス 11110000 (F0H)
ID No. 01001101 (4DH)
システム No. 00000001 (SEDI 指定)
システム CH. 0ssnnnn (s=SEDI CH.、n=MIDI CH.)
サブステータス 01011110 (5EH)
パラメーター 0000bbbb (b=バンク No. 0~9)
バイトカウント 00010100 (データバイト数=10)
データバイト 0a0ddddd (d=0~19、エンド・オブ・パッチはa=1)
↓
0a0ddddd
チェックサム 0eeeeeee
EOX 11110111 (F7H)

(C) カレント・シーケンス・ストア・リクエスト

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(SEDI 指定)
システム CH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01011101	(5 DH)
バイトカウント	00001010	(データバイト数=10)
データバイト	0a0ddddd	(d=0~19, エンド・オブ・パッチは a=1)
	↓	
	0a0ddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F 7 H)

(D) サウンド・パラメーター・ストア・リクエスト、全パラメーター指定

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(SEDI 指定)
システム CH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01011100	(5 CH)
パラメーター 1	0aaaaaaa	(a=サウンド No. 0~19)
パラメーター 2	01000000	(4 0 H)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データバイト数=1~64)
データバイト	0ddddddd	(d=0~99)
	↓	
	0ddddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F 7 H)

(E) サウンド・パラメーター・ストア・リクエスト、パラメーター No. 指定

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(SEDI 指定)
システム CH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01011100	(5 CH)
パラメーター 1	0aaaaaaa	(a=サウンド No. 0~19)
パラメーター 2	0ccccccc	(C=サウンド・パラメーター No. 0~63)
バイトカウント	00000001	(データバイト数=1)
データバイト	0ddddddd	(d=0~99)
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F 7 H)

(F) カレント・サウンド・パラメーター・ストア・リクエスト、全パラメーター指定

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(SEDI 指定)
システム CH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01011011	(5 BH)
パラメーター	01000000	(4 0 H)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データバイト数=1~64)
データバイト	0ddddddd	(d=0~99)
	↓	
	0ddddddd	
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F 7 H)

(G) カレント・サウンド・パラメーター・ストア・リクエスト、パラメーター No. 指定

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(SEDI 指定)
システム CH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01011011	(5 BH)
パラメーター	0ccccccc	(C=サウンド・パラメーター No. 0~63)
バイトカウント	00000001	(データバイト数=1)
データバイト	0ddddddd	(d=0~99)
チェックサム	0eeeeeee	
EOX	11110111	(F 7 H)

[3] イベント・メッセージ

(A) モード・チェンジ・リクエスト

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(SEDI 指定)
システム CH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01001111	(4 FH)
パラメーター	00000aaa	(a=1: プレイ・モード、 2: サウンド・モード、 3: プレイ・スLEEP・モード、 4: サウンド・スLEEP・モード、 5: MODE 5、 6: MODE 6、 7: MODE 7、
EOX	11110111	(F 7 H)

(B) トリガー・リクエスト

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(SEDI 指定)
システム CH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01001110	(4 EH)
パラメーター	00000aaa	(a=トリガー No. 1~7)
EOX	11110111	(F 7 H)

(C) サウンド No. チェンジ・リクエスト

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(SEDI 指定)
システム CH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01001011	(4 BH)
パラメーター	000aaaaa	(a=サウンド No. 0~19)
EOX	11110111	(F 7 H)

(D) バイパス・リクエスト

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	000000yy	(y=0 or 2: DMI 4, y=1: SEDI 指定)
システム CH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01001010	(4 AH)
EOX	11110111	(F 7 H)

(E) エフェクト・リクエスト

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	000000yy	(y=0 or 2: DMI 4, y=1: SEDI 指定)
システム CH.	0sssnnnn	(S=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01001001	(4 0 H)
EOX	11110111	(F 7 H)

送信データ・フォーマット

チャンネル・ボイス・メッセージ

[1] プログラム・チェンジ/MIDI CH.

ステータス	1100nnnn	(n=0~15:MIDI CH.)
プログラムNo.	00000000	(p=0~99)

システム・エクススクレシブ・メッセージ

[1] ダンプ・データ

(A) 機種IDダンプ・データ

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	000000vv	(v=1:SEDI, v=2:DMI 4)
システムCH.	0ssnnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01101111	(6FH)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データ/バイト数)
データ/バイト	00000000	(機種ID No.)
	}	
	00000000	
チェックサム	00000000	
EOX	11110111	(F7H)

*チェックサムはデータ/バイト加算値の2の補数の下位7ビット

(B) シーケンス・ダンプ・データ、全バンク

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0ssnnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01101110	(6EH)
パラメーター	01000000	(40H)
バイトカウント	00110100	(データ/バイト数=100)
データ/バイト	0a000000	(d=0~19, エンド・オブ・パッチはa=1)
	}	
	0a000000	
チェックサム	00000000	
EOX	11110111	(F7H)

(C) シーケンス・ダンプ・データ、バンクNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0ssnnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01101110	(6EH)
パラメーター	0000bbbb	(b=バンクNo.0~9)
バイトカウント	00001010	(データ/バイト数=10)
データ/バイト	0a000000	(d=0~19, エンド・オブ・パッチはa=1)
	}	
	0a000000	
チェックサム	00000000	
EOX	11110111	(F7H)

(D) カレント・シーケンス・ダンプ・データ

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0ssnnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01101101	(6DH)
バイトカウント	00001010	(データ/バイト数=10)
データ/バイト	0a000000	(s=0~19, エンド・オブ・パッチはa=1)
	}	
	0a000000	
チェックサム	00000000	
EOX	11110111	(F7H)

(E) サウンド・パラメーター・ダンプ・データ、全パラメーター

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0ssnnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01101100	(6CH)
パラメーター1	0aaaaaaa	(a=サウンドNo.0~19)
パラメーター2	01000000	(40H)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データ/バイト数=1~64)
データ/バイト	00000000	(d=0~99)
	}	
	00000000	
チェックサム	00000000	
EOX	11110111	(F7H)

(F) サウンド・パラメーター・ダンプ・データ、パラメーターNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0ssnnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01101100	(6CH)
パラメーター1	0aaaaaaa	(a=サウンドNo.0~19)
パラメーター2	00000000	(C=サウンド・パラメーターNo.0~63)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データ/バイト数=1)
データ/バイト	00000000	(d=0~99)
チェックサム	00000000	
EOX	11110111	(F7H)

(G) カレント・サウンド・パラメーター・ダンプ・データ、全パラメーター

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0ssnnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01101011	(6BH)
パラメーター	01000000	(40H)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データ/バイト数=1~64)
データ/バイト	00000000	(d=0~99)
	}	
	00000000	
チェックサム	00000000	
EOX	11110111	(F7H)

(H) カレント・サウンド・パラメーター・ダンプ・データ、パラメーターNo.指定

ステータス	11110000	(F0H)
ID No.	01001101	(4DH)
システムNo.	00000001	(1=SEDI)
システムCH.	0ssnnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	01101011	(6BH)
パラメーター	00000000	(C=サウンド・パラメーターNo.0~63)
バイトカウント	0nnnnnnn	(データ/バイト数=1)
データ/バイト	00000000	(d=0~99)
チェックサム	00000000	
EOX	11110111	(F7H)

[2] イベント・メッセージ

(A) バイパス・リクエスト

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000000	(コモン)
システム CH.	0000nnnn	(n=MIDI CH.)
サブステータス	01001010	(4 AH)
EOX	11110111	(F 7 H)

(B) エフェクト・リクエスト

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(コモン)
システム CH.	0000nnnn	(n=MIDI CH.)
サブステータス	01001001	(4 9 H)
EOX	11110111	(F 7 H)

[3] コミュニケーション・メッセージ

(A) ACK (オペレーション完了)

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(1=SEDI)
システム CH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	00111111	(3 FH)
EOX	11110111	(F 7 H)

(B) NCK (データ受信エラー)

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	00000001	(1=SEDI)
システム CH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	00111110	(3 EH)
EOX	11110111	(F 7 H)

(C) キャンセル (オペレーション実行不可)

ステータス	11110000	(F 0 H)
ID No.	01001101	(4 DH)
システム No.	000000yy	(y=1:SEDI, y=2:DMI 4)
システム CH.	0sssnnnn	(s=SEDI CH., n=MIDI CH.)
サブステータス	00111101	(3 DH)
パラメーター	000000aa	(a=1:プロテクト ON 2:パラメーター不適當 3:BUSY)
EOX	11110111	(F 7 H)

MIDI インプリメンテーション・チャート

[DCP MIDI INTERFACE]
MODEL:DMI4

MIDI Implementation Chart Version : 1.0
Date : 09.JUL.1987.
Maxon

Function ...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic	Default	x	1-16	memorized
Channel	Changed	x	1-16	
Mode	Default	x	OMNI ON/OFF	controlled by switch
	Messages	x	x	
	Altered	*****	x	
Note		x	x	
Number : True voice		*****	x	
Velocity	Note ON	x	x	
	Note OFF	x	x	
After	Key's	x	x	
Touch	Ch's	x	x	
Pitch Bender		x	x	
		x	x	
Control				
Change				
Prog		o (0-99)	o (0-99)	
Change : True #		*****		
System Exclusive		o	o	
System : Song Pos		x	x	
: Song Sel		x	x	
Common : Tune		x	x	
System : Clock		x	x	
Real Time : Commands		x	x	
Aux : Local ON/OFF		x	x	
: All Notes OFF		x	x	
Mes- : Active Sense		x	x	
sages: Reset		x	x	
Notes				

Mode 1: OMNI ON, POLY
Mode 3: OMNI OFF, POLY

Mode 2: OMNI ON, MONO
Mode 4: OMNI OFF, MONO

o=Yes
x=No

